

2-④ 下水道施設のストックマネジメント及び耐震化・耐水化の推進について

防災・減災及び経済成長に資する社会資本整備の促進について

東広島市の現状と課題・取組状況

- 全下水道施設(管路、ポンプ場、ポンプ所及び処理場など)を対象とした第2期ストックマネジメント計画を令和6年度に策定することとしており、計画に基づき更新設計及び工事を令和7年度から実施する。
- 下水道処理施設の耐震化率は約70%であり、耐震基準を満たしていない全ての施設の耐震化を継続して実施する。
- 洪水等において浸水する可能性がある施設については、令和3年度に策定した耐水化計画に基づき、耐水化工事を継続して実施する。

【ストックマネジメント計画及び耐震化・耐水化スケジュール】

(例)【東広島浄化センターの現況】



受変電設備
(耐用年数20年を超過)



老朽化に伴う故障により、受変電設備の停止を懸念



ポンプの軸受ケーシングが腐食



平成30年7月豪雨による被災(扉破損)

